



2025 Super FJ Race report

Super FJ オートポリスシリーズ Rd.1



GOLD CUP RACE

2025 年 4 月 6 日 天候:快晴 参加 14 台



テキスト:はた☆なおよき

現在は 4 シリーズ設けられているスーパーFJ 地方選手権の中で、最後に開幕戦を迎えたのがオートポリス。九州唯一の公認サーキットで、4 月 6 日に「ゴールドカップレース第1戦」が開催された。今年も全5戦での開催が予定されている。

余談ながら、1990 年の開業以来、このシリーズ名称が用いられている由来は、当初ウィナーに純金のプレートが貼られたトロフィーが渡されていたため。だから、正確にはゴールドトロフィーなのだが、それはともかく今から 35 年前、いかにもバブル時代ならではのエピソードと言えまいか!?

公式予選

開幕戦には 14 台のエントリーを集めた。地元九州の、お馴染みのドライバーが引き続きエントリーしているが、KYOJO CUP の出場経験を持つ、#55 井下沙霧選手(KMTS.RT ミスト KKSII)が昨年の最終戦に続いて出場。そして、昨年の第4戦以来の出場となる、#22 酒井翔太選手(ファーストガレージ制動屋)は今年も積極的な活動を見せており、もてぎと筑波、岡山で勝ち続けているだけに、オートポリスでも猛威を見せるか、大いに注目される。

そしてダークホースは、#58 武村和希選手(WEST 17J)だ。FIA-F4 の経験を持ち、現在は VITA で活躍中のドライバーにとって、スーパーFJ はもてぎシリーズで 2014 年以来、実に 10 年ぶりという。操るのは一世代前のマシンだが、果たして昔取った杵柄となるか?

予選は 10 時 30 分から、15 分の計測に。開始からすぐ 1 台がスピンし、コースアウトするも、すぐに復帰なって赤旗が出されなかったのは幸いだった。先頭で戻ってきたのは#58 武村で、サーキットが変わ

ってもしんがりで戻ってきたのは#22 酒井だった。

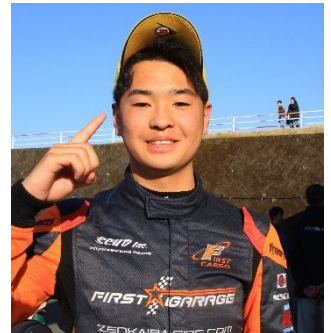
計測1周目のトップは#75 坂本秀平選手(ORM KKSII C.O.B)で 2 分 1 秒 557。次の周には 2 分 0 秒 209 まで縮めるも、即座に 1 分 59 秒 111 を記してトップを奪い取ったのが#22 酒井選手だ。さらなるタイムアップを求めて、セクター3 でコースアウトしてしまったのはご愛嬌。しかし、それから2週間には何事もなかったかのように 1 分 58 秒 992 へ、そしてラストアタックでは 1 分 58 秒 748 まで詰めてポールポジションを獲得する。

#75 坂本選手もタイムを詰め続けていたが、あと一步のところまで 1 分 58 秒台に乗せることができず、1 分 59 秒 194 がベストで 2 番手に。3 番手には#51 永原蒼翔選手(ピットワークながはら/MYST)がつけ、1 分 59 秒 392 をベストタイムとした。

そして 4 番手はジェントルマンクラストップの#15 楊昌樹選手で、5 番手となった#58 武村選手は「タンクを交換したばかりで、燃料の吸い込みがどうしても芳しくなくて」とチームクルー。ジェントルマンクラスの#31 古賀徳吉選手(カーショップフクダ L&S 碑文谷薬局 COB)と#44 篠田義仁選手(イワモトレレーシング/制動屋/SJ)が、これに続いた。#55 井下選手は 13 番手に。

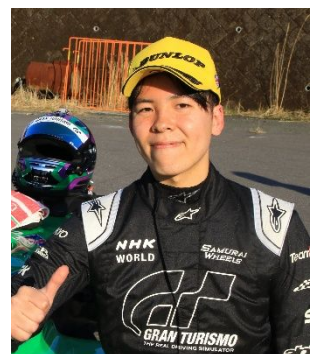
ポールポジション: #22 酒井翔太選手(ファーストガレージ制動屋)

「セクター3が全体的にちょっとアンダーなのかな、という気がしていて、昨日よりも向き変えられず、踏めないみたいな感じだったので、もうちょっと上がるかな、という感じがあったんですけど、ちょっとうまくまとめきれなかったですね。途中、最終のセクター3 の橋の先で、全然曲がらなくて飛び出しちゃいました。2 番手との差があまりないですけど、序盤のペース考えたら僕の方があると思うので、本当に苦手なスタートさえ決まれば(苦笑)、あとは逃げられるかなという気がしているので、そこはしっかり集中してやります」



予選 2 番手: #75 坂本秀平選手(ORM KKSII C.C.B)

「自分としては、あ、タイムとしてはいいんですけど、自分としては出しきれていない感じがあって、ただトップの酒井選手には、出しきれても届かなかったと思います。けど、その差をもう少し縮めたかったです。去年のラスト2戦から 07J で出ていて、C.O.B さんに準備してもらって今回から、KK-SII に乗せてもらえることになりました。今までカートをやっていて、ROTAX MAX っていうカテゴリーで戦っていました。今、29 歳です。完全に C.O.B さんのおかげで、これまで九州のタイトルも 3 回か 4 回獲らせてもらっているんですが、ただちょっとお金がなかったので、なかなかフォーミュラに乗れなかったんですが、C.O.B さんを始めとする、皆様のご協力のおかげでフォーミュラに乗せてもらっています。決勝も頑張ります」



予選 3 番手: #51 永原蒼翔選手(ピットワークながはら/MYST)

「もう、鈴鹿、岡山から車の調子がずっとおかしくて、今週も練習走行から納得のいく走りができていなくて、いろいろ込みで失敗した予選です。いろいろクラッシュから、いろいろあって、岡山でもギヤが壊れて決勝リタイヤとかあったので、思うような予選ではなかったですね。決勝は追います！」



決勝レース



前日晩の雨で早朝の路面は濡れて、おまけにオートポリス名物の霧まで出ていたものだから、いったいどんな 1 日になってしまうのか……と思っていたものだが、スーパーFJ はタイムスケジュールの最後だったから、予選もドライコンディションで走れた上に、決勝では上空に青空が浮かぶまでとなっていた。注目のスタートでは、ポールシッターの#22 酒井選手がスムーズに発進し、トップを譲らず1コーナーへ。これに#75 坂本選手と#51 永原選手が続いた一方で、4 番手につけていたのが#44 篠田選手だ。7 番手から絶妙のスタートダッシュで一気にポジションを上げていた。

1周目を終えた時点で#22 酒井選手は、早くも1秒3のリードを築いていたのに対し、#75 坂本選手と#51 永原選手がテール・トゥ・ノーズ状態。そこから間隔をあけて#44 篠田選手と#15 古賀選手、#58 武村選手、#31 古賀選手が4 番手を競い合う。

1分58秒台を連発し、6周目には1分58秒296を記して予選タイムをも超えた、#22 酒井選手にストップをかけられる者など存在しようはずもなく、ぐんぐんリードを広げていく。終わってみれば、10周で12秒もの大差をつけて、完全なひとり舞台に。#22 酒井選手は4サーキットを股にかけ、4連勝を飾ることとなった。



一方、2 番手争いは最後まで続いた。しかし、9周目の3コーナーでアウトから並んだ#51 永原選手が、続く4コーナーで#75 坂本選手の前に。なおも諦めず攻め立てた#75 坂本選手だったが、最後はコンマ4秒差で振り切られていた。

そしてジェントルマンドライバー+ #58 武村選手による、4 番手争いも熾烈を極め、そのまま4 台が連なっていく。その中で#58 武村選手が意地を見せ、9周目に#15 古賀選手、最終ラ



ップには#44 篠田選手をパス。#44 篠田選手がジェントルマンクラスのトップは最後まで守り抜き、同時に5位を獲得した。注目の女性ドライバー#55 井下選手は11位でフィニッシュ。

オートポリスシリーズの第2戦は 6 月 8 日に、ジャパンリーグとの W タイトルで開催される。本州からの遠征も期待できる中、引き続き参戦する#22 酒井選手の勢いを止める者が現れるか、大いに注目される



優勝：#22 酒井翔太選手(ファーストガレージ制動屋)

「スタートは決まったかな、っていう……。今までだったら決まった気がするんですが。まあ、その後のペースが序盤から良かったので、最後までミスなく、淡々と走れたのが良かったのかな、という気がします。予選よりもタイムが出せて、頑張りました！ とりあえず連勝できたので、良かったですね。次のレースはたぶん、富士の FIA-F4 で、そこでもいい走りができればと思っています。しっかり自分の走りができるよう、頑張ります！」

2位：#51 永原蒼翔選手(ピットワークながはら/MYST)

「ずっとクリーンなバトルでギリギリ、本当にギリギリで戦えました。車は全然ダメで、まだ調子が今イチ前の走りではない気がします。本当に速いですね、酒井くんは。今度は 6 月なんで、車もしっかり直して、本調子で行きたいですね」

3位 #75 坂本秀平選手(ORM KKSII C.O.B)

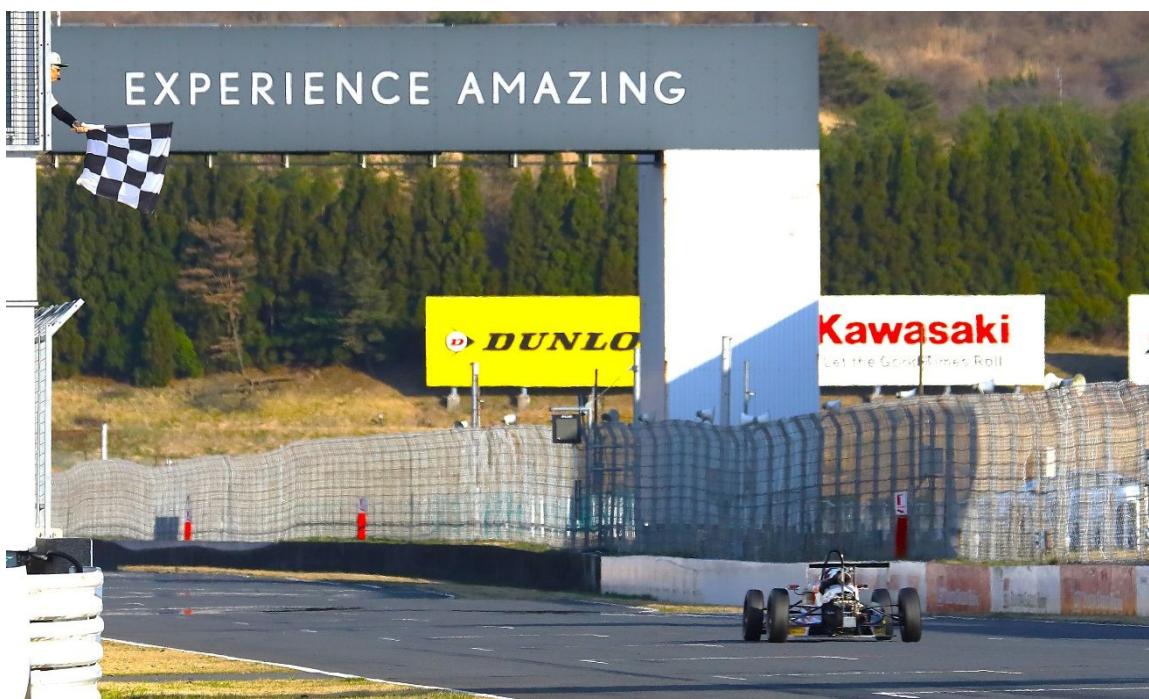
「見ている方も面白かったですか？ ハッハッハ(笑)。やっている方も面白かったです。スタートは出遅れちゃいましたね。もちろん、スタンディングスタートはあんまりしたことがなくて、4 回目ぐらいです、今回が。ただ、ちょっと下手くそだったので、次は改善したいです。ま〜じ速いですね、酒井くん。ああいう存在がいるからには現状に満足せず、これからも頑張ります！」

5 位・ジェントルマンクラス優勝：#44 篠田義仁選手(イワモトレーシング/制動屋/SJ)

「スタートをうまく決めることができてですね、7 番手スタートから 4 番手までポジションアップできたのかな？ スタートを決めようと全集中で、それがうまく決まったので。1 コーナーも皆さんの交錯するところをクリーンで、僕もすんなり入っていられたので、あれで今回のレースは大満足って感じです(笑)。ジェントルマンクラスに今回から参加して、みんなも非日常の、



この世界できちっとルールに則って、熱く戦える、このトラック上で。やっぱりね、この刺激っていうのが、ワイワイガヤガヤと戦いが繰り広げられて、本当に今日は終わって大満足です」



JAF地方選手権スーパーFJ 第4戦

スーパーFJ 公式予選

2024 / 8 / 18 10:05



正式結果

Weather : 晴れ

Autopolis International Racing Course(4,674m)

Track : ドライ

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Type	Best Time	Lap	Gap	Ave. Km/h
1	22	-	1	酒井 翔太	ファーストカレッジ KK-S II	MYST KK-SII	1'58.731	4 / 7		141.719
2	26	-	2	吉元 陵	安藤商会オートハンサー-NEOデザインED	MYST KK-SII	1'58.909	3 / 8	0.178	141.507
3	44	-	3	篠田 義仁	イワモトレーシング/制動屋/SJ	MYST KK-SII	1'59.204	6 / 7	0.473	141.156
4	51	-	4	永原 蒼翔	ビットワークながはら/MYST	MYST KK-SII	1'59.338	7 / 8	0.607	140.998
5	56	G	1	KOUKI SAKU	K2sports☆EKC☆SPV	WEST19J	1'59.834	4 / 8	1.103	140.414
6	24	G	2	碓井 ヴシ	C.O.B-KART	MYST KK-SII	2'00.726	6 / 7	1.995	139.377
7	31	G	3	古賀 徳吉	カーショップフクダL&S碑文谷薬局COB	MYST KK-SII	2'01.173	7 / 8	2.442	138.863
8	11	G	4	TERUO	TEAM FALCON No.11	MYST KK-SII	2'01.940	7 / 7	3.209	137.989
9	15	G	5	楊 昌樹	LBJ-Wakida Racing	MYST KK-SII	2'02.089	4 / 8	3.358	137.821
10	75	-	5	坂本 秀平	ORM 07J/C.O.B	WEST 07J	2'02.340	5 / 8	3.609	137.538
11	98	G	6	JUN	BlueStyle・オガテック・ER2C	MYST KK-SII	2'02.363	7 / 7	3.632	137.512
12	6	G	7	DON LUCIANO	LBJレーシング	MYST KK-SII	2'03.687	3 / 6	4.956	136.040

***** 以上予選通過 (2'34.632 - 130%) *****

スーパーFJ地方選手権 第1戦

スーパーFJ 決勝

2025 / 4 / 6 18:10



正式結果

Weather : 晴れ

Autopolis International Racing Course(4,674m)

Track : ドライ

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Type	Lap	Total Time	Gap	Ave. Km/h	Best Time
1	22	-	1	酒井 翔太	ファーストカレッジ制動屋	KKS-II	10	19'48.302		140.867	1'58.296
2	51	-	2	永原 蒼翔	ビットワークながはら/MYST	KKS-II	10	20'00.530	12.228	139.432	1'59.200
3	75	-	3	坂本 秀平	ORM KKSII C.O.B	KKS-II	10	20'00.962	12.660	139.382	1'59.355
4	58	-	4	武村 和希	west17j	WEST17J	10	20'18.752	30.450	137.348	2'00.923
5	44	G	1	篠田 義仁	イワモトレーシング/制動屋/SJ	KKS-II	10	20'20.710	32.408	137.127	2'01.220
6	31	G	2	古賀 徳吉	カーショップフクダL&S碑文谷薬局COB	KKS-II	10	20'20.931	32.629	137.103	2'01.158
7	15	G	3	楊 昌樹	LBJ-Wakida Racing	KKS-II	10	20'21.930	33.628	136.990	2'00.995
8	98	G	4	JUN	BlueStyle・オガテック・ER2C	KKS-II	10	20'29.100	40.798	136.191	2'01.468
9	13	G	5	佐藤 修平	(株)あおい空調COBタツミ	KKS-II	10	20'29.668	41.366	136.128	2'01.647
10	11	G	6	TERUO	TEAM FALCON No.11	KKS-II	10	20'31.315	43.013	135.946	2'01.545
*1	11	-	5	入江 裕樹	T.R.S 307 タツミレーシング	WEST19J	10	20'38.022	49.720	135.210	2'01.688
12	19	G	7	大隈 雄策	オガテック ミシマレーシング/KKS-II	KKS-II	10	20'46.854	58.552	134.252	2'01.576
13	55	-	6	井下 沙霧	KMTS.RT ミストKKS II	KKS-II	10	20'56.688	1'08.386	133.202	2'03.623
14	6	G	8	DON LUCIANO	LBJレーシング	KKS-II	10	21'19.714	1'31.412	130.805	2'06.586

***** 以上完走 (規定周回数 : 9Laps) *****